

造影検査に関する説明と同意書

- 造影（CT・MRI）検査では、造影剤を静脈内に注入することにより、画像の診断能を向上させ、血管の状態や血液の流れ、病巣部の鮮明な画像などを描出することができます。
- 造影剤は安全性の高いお薬ですが、稀に、次のような副作用を生じることがあります。
 - 軽度：吐き気、嘔吐、発疹、じんま疹、頭痛、めまい、血管痛
 - 重度：血圧低下、呼吸困難、意識消失、死亡全副作用の発生率100人に3人程度、重度の副作用発生率2.5万人に1人、程度と報告されています。40万人に1人死亡例の報告あり
- 副作用は、造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、1時間～1週間ほど経過してから症状が出てくる場合もあります（遅発性副作用）。
- 造影剤の急速注入に伴い、血管外漏出の発生が100人に2人程度と報告されています。血管外漏出防止に努めていますが、万が一発生してしまった場合は、冷湿布貼付等の処置を行ないます。
- 副作用の危険性を予知するために以下の質問にお答えください。

1・ いままで造影剤を用いた検査を受けたことがありますか？ あり なし

2・ 1でありと答えた方、造影剤で副作用が起きたことがありますか？ あり なし

どのような、副作用でしたか？

じんましん 発赤 くしゃみ 咳 おう吐 吐き気 頭痛 顔面むくみ

のどの違和感 その他（ ）

3・ 甲状腺機能亢進症がありますか？ あり なし

4・ アレルギー疾患がありますか？

ぜんそく じんましん アトピー性皮膚炎 花粉症 アレルギー性鼻炎

飲み薬・注射薬・食物に対するアレルギー（ ）その他（ ） なし

5・ 以下の病気がありますか？

心臓病 高血圧 腎臓病 肝臓病 多発性骨髄腫 褐色細胞腫 マクログロブリン血症

テタニー なし

6・ 糖尿病はありますか？ あり なし

7・ 6でありと答えた方、以下の経口糖尿病薬は飲んでいますか？

ピグアナイド系の経口糖尿病薬（メット、メルビン、メトホルミン、プロホルミン、ジベトン）

はい（ヨード造影剤を用いて検査を行う場合は、担当医師の指示にしたがって内服の一時中止が必要となります）

いいえ

8・ 女性のみお答え下さい。

現在、妊娠していますか？ いいえ はい わからない

私は、上記の説明を受け、その必要性和副作用について理解しましたので、造影検査に同意します。

記入日 年 月 日 同意した患者様の御署名 _____

代理人の御署名 _____

【注】代理人欄は本人が未成年者または署名できない場合にご記入下さい。

【医師記入】 上記問診を確認した上で造影剤使用 可 不可

確認日 年 月 日 医師署名 _____